

償還 運用報告書 (全体版)

第16期<償還日 2023年3月23日>

MHAM新興国現地通貨建債券ファンド (ファンドラップ)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/債券	
信託期間	2008年6月3日から2023年3月23日までです。	
運用方針	新興国の現地通貨建て国債、政府機関債、国際機関債、社債等に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指します。	
主要投資対象	MHAM新興国現地通貨建債券ファンド(ファンドラップ)	新興国現地通貨建債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	新興国現地通貨建債券マザーファンド	新興国の公社債を主要投資対象とします。
運用方法	新興国の現地通貨建て国債、政府機関債、国際機関債、社債等に投資を行います。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。新興国現地通貨建債券マザーファンドにおける円の余資運用以外の運用の指図に関する権限を、ルーミス・セイレス・アンド・カンパニー・エル・ピーに委託します。なお、ルーミス・セイレス・アンド・カンパニー・エル・ピーは、その委託を受けた運用の指図に関する権限の一部(債券等の取引執行の一部)を、子会社であるルーミス・セイレス・インベストメンツ・アジア・ピー・ティー・イー・リミテッドに再委託します。	
組入制限	MHAM新興国現地通貨建債券ファンド(ファンドラップ)	外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	新興国現地通貨建債券マザーファンド	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時(原則として毎年5月8日。ただし、休業日の場合は翌営業日)に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額を分配対象額の範囲とし、分配金額は委託会社が基準価額の水準や市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「MHAM新興国現地通貨建債券ファンド(ファンドラップ)」は、この度、信託約款の規定に基づき、繰上償還の運びとなりました。

ここに、運用経過と償還内容をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<http://www.am-one.co.jp/>

MHAM新興国現地通貨建債券ファンド（ファンドラップ）

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額			J P モ ル ガ ン G B I - E M グ ロ ー バ ル ・ デ ィ バ ー シ フ ァ イ ド (ヘッジなし・ 円ベース) (参考指数)		債券 組入比率	債券 先物比率	純資産額
	(分配)	税込み 分配金	期中 騰落率	期中 騰落率	期中 騰落率			
12期 (2019年5月8日)	円 11,846	円 0	% △4.3		% 262.39	93.1	—	百万円 7,314
13期 (2020年5月8日)	10,789	0	△8.9		245.81	93.7	—	5,841
14期 (2021年5月10日)	12,407	0	15.0		286.16	95.0	—	2,548
15期 (2022年5月9日)	12,525	0	1.0		280.83	88.8	—	6,120
(償還日) 2023年3月23日	(償還価額) 13,370.53	0	6.8		298.63	—	—	590

(注1) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注2) 債券先物比率は、買建比率-売建比率です。

(注3) J P モ ル ガ ン G B I - E M グ ロ ー バ ル ・ デ ィ バ ー シ フ ァ イ ド (ヘッジなし・円ベース) は、基準価額への反映を考慮して前営業日の値を用いております (小数第3位四捨五入) (以下同じ)。

(注4) J P モ ル ガ ン G B I - E M グ ロ ー バ ル ・ デ ィ バ ー シ フ ァ イ ド (ヘッジなし・円ベース) は、J . P . モ ル ガ ン ・ セ キ ュ リ テ ィ ー ズ ・ エ ル エ ル シ ー が 公 表 し て い る 指 数 で す 。 同 指 数 に 関 す る 著 作 権 等 の 知 的 財 産 そ の 他 一 切 の 権 利 は J . P . モ ル ガ ン ・ セ キ ュ リ テ ィ ー ズ ・ エ ル エ ル シ ー に 帰 属 し ま す (以 下 同 じ) 。

(注5) △ (白三角) は マイナス を 意 味 し て い ま す (以 下 同 じ) 。

■当期中の基準価額と市況の推移

年月日	基準価額		J P モ ル ガ ン G B I - E M グ ロ ー バ ル ・ デ ィ バ ー シ フ ァ イ ド (ヘッジなし・ 円ベース) (参考指数)		債券 組入比率	債券 先物比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率		
(期首) 2022年5月9日	円 12,525	% —		% 280.83	88.8	—
5月末	12,710	1.5		284.25	90.7	—
6月末	12,915	3.1		290.59	89.4	—
7月末	12,713	1.5		283.78	88.7	—
8月末	13,128	4.8		295.47	92.0	—
9月末	13,036	4.1		290.22	90.2	—
10月末	13,321	6.4		296.61	93.5	—
11月末	13,225	5.6		295.99	95.2	—
12月末	12,876	2.8		291.69	95.0	—
2023年1月末	13,226	5.6		298.22	95.8	—
2月末	13,404	7.0		301.27	—	—
(償還日) 2023年3月23日	(償還価額) 13,370.53	6.8		298.63	—	—

(注1) 騰落率は期首比です。

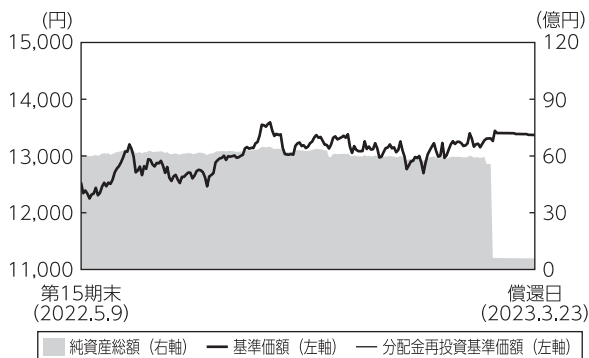
(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は、買建比率-売建比率です。

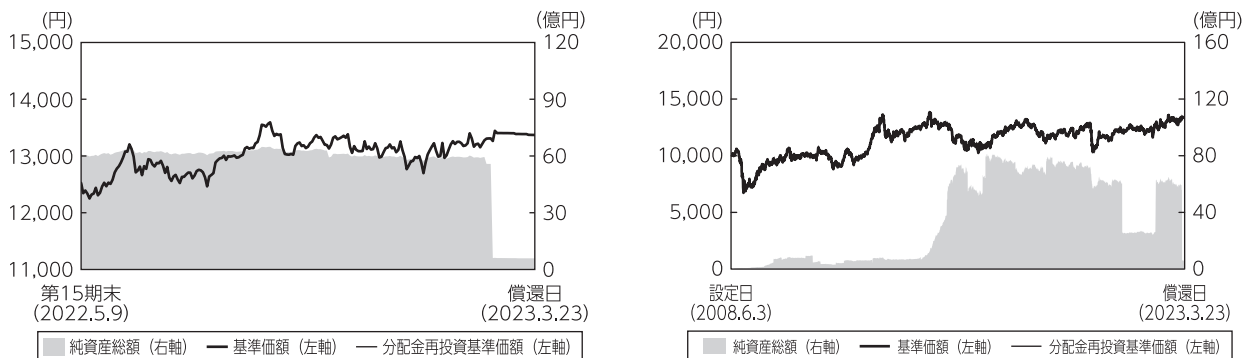
■設定以来の運用経過（2008年6月3日から2023年3月23日まで）

基準価額等の推移

<第16期の基準価額等の推移>



<設定以来の基準価額等の推移>



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 「第16期の基準価額等の推移」の分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 「設定以来の基準価額等の推移」の基準価額は、設定日前日を10,000として計算しています。分配金再投資基準価額は、設定日前日を10,000として指数化しています。
- (注5) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

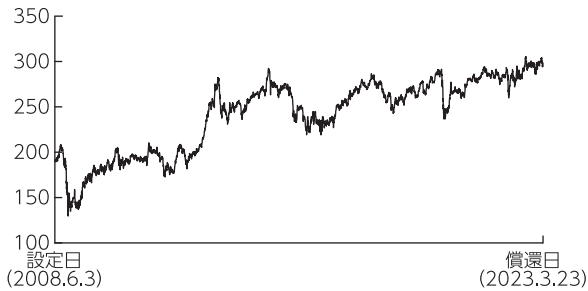
基準価額の主な変動要因

当期、「新興国現地通貨建債券マザーファンド」受益証券への投資を通じて、新興国の現地通貨建て債券などに投資を行った結果、新興国通貨が円に対して下落したものの、債券市場が堅調であったことなどから基準価額は上昇しました。

設定来、「新興国現地通貨建債券マザーファンド」受益証券への投資を通じて、新興国の現地通貨建て債券などに投資を行った結果、新興国通貨が円に対して下落したものの、債券市場が堅調であったことなどから基準価額は上昇しました。

設定来の投資環境

<JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド
(ヘッジなし・円ベース)の推移>



新興国の現地通貨建て債券市場は、2008年のリーマンショック、2013年のバーナンキFRB（米連邦準備理事会）議長によるQE（量的緩和）縮小発言、2020年の新型コロナウイルスの世界的な感染拡大、2022年のロシアのウクライナ侵攻を受け、下落する局面はありましたが、高い表面利率による利息収入を主因に上昇基調で推移しました。

新興国の通貨（対円）は、2008年のリーマンショック、2014年から2015年にかけての原油価格暴落、2020年の新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受け、市場のリスク回避姿勢が強まったことなどを背景に下落しました。

設定来のポートフォリオについて

●当ファンド

「新興国現地通貨建債券マザーファンド」受益証券の組入比率を高位に維持しました。

●新興国現地通貨建債券マザーファンド

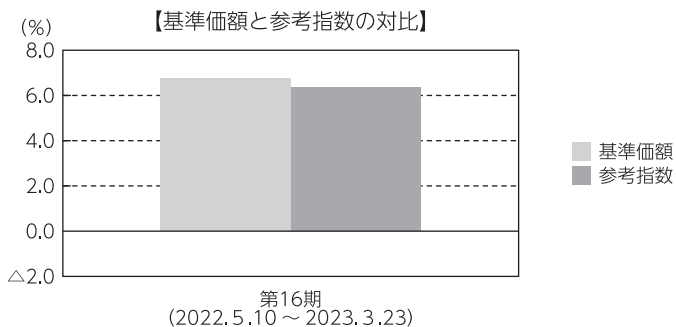
主として新興国の現地通貨建て債券に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指しました。

国別配分は、投資ガイドラインに留意しながら、新興国市場の代表的なインデックスに採用のない国も含めて幅広い銘柄への投資を実施しました。

種別配分は国債を主体としつつ、新興国企業の社債等も組み入れました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドでは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

このたび償還を迎えるにあたりまして、当ファンドへのご愛顧に心より感謝申し上げますとともに、今後とも一層のお引立てを賜りますようお願い申し上げます。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第16期		項目の概要
	(2022年5月10日 ～2023年3月23日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	104円	0.795%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は13,042円です。
(投信会社)	(97)	(0.747)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(1)	(0.010)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(5)	(0.038)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	24	0.181	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(16)	(0.126)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(7)	(0.053)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	127	0.976	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

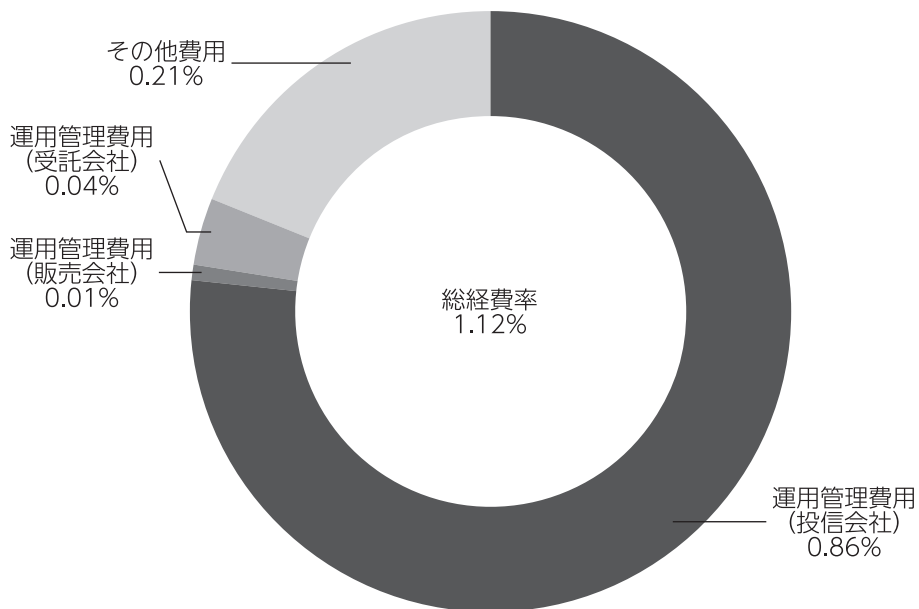
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.12%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況（2022年5月10日から2023年3月23日まで）

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
新興国現地通貨建債券マザーファンド	81,630	128,000	4,039,026	6,486,338

■利害関係人との取引状況等（2022年5月10日から2023年3月23日まで）

【MHAM新興国現地通貨建債券ファンド（ファンドラップ）における利害関係人との取引状況等】

期中の利害関係人との取引状況

決 算 期	当 期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況 B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況 D	$\frac{D}{C}$
区 分	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
金 銭 信 託	0.016413	0.016413	100.0	0.016413	0.016413	100.0

【新興国現地通貨建債券マザーファンドにおける利害関係人との取引状況等】

期中の利害関係人との取引状況

区 分	買付額等	うち利害関係人 との取引状況等	比 率	売付額等	うち利害関係人 との取引状況等	比 率
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
金 銭 信 託	0.000514	0.000514	100.0	0.000514	0.000514	100.0

平均保有割合 100.0%

(注) 平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ信託銀行です。

■組入資産の明細

償還時における有価証券の組入れはありません。前期末の組入れは以下の通りでした。

親投資信託残高

	期 首 (前 期 末)
	□ 数
	千口
新興国現地通貨建債券マザーファンド	3,957,396

■投資信託財産の構成

2023年3月23日現在

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	605,912	100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	605,912	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年3月23日)現在

項 目	償 還 時
(A) 資 産	605,912,236円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	605,912,236
(B) 負 債	15,866,927
未 払 信 託 報 酬	15,866,677
未 払 利 息	250
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	590,045,309
元 本	441,302,943
償 還 差 損 益 金	148,742,366
(D) 受 益 権 総 口 数	441,302,943口
1 万 口 当 たり 償 還 価 額 (C / D)	13,370円53銭

(注) 期首における元本額は4,886,892,453円、当期中における追加設定元本額は298,701,847円、同解約元本額は4,744,291,357円です。

■損益の状況

当期 自2022年5月10日 至2023年3月23日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△10,678円
受 取 利 息	54,782
支 払 利 息	△65,460
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	80,793,584
売 買 益	265,617,066
売 買 損	△184,823,482
(C) 信 託 報 酬 等	△44,584,217
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	36,198,689
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	5,472,751
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	107,070,926
(配 当 等 相 当 額)	(321,067,758)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△213,996,832)
(G) 合 計 (D + E + F)	148,742,366
償 還 差 損 益 金 (G)	148,742,366

(注1) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注2) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 信託財産の運用の指図に係る権限を委託するために要する費用は、当期は新興国現地通貨建債券マザーファンド24,028,398円で、委託者報酬から支弁しております。

■投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2008年6月3日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2023年3月23日		資産総額	605,912,236円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減又は追加信託	負債総額	15,866,927円
	受益権口数	1,000,000口	441,302,943口	440,302,943口	純資産総額
元本額	1,000,000円	441,302,943円	440,302,943円	受益権口数	441,302,943口
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	151,103,090円	111,582,660円	7,385円	0円	0.00%
第2期	723,870,608	693,252,303	9,577	0	0.00
第3期	472,365,836	470,825,368	9,967	0	0.00
第4期	589,130,645	586,499,238	9,955	0	0.00
第5期	621,455,639	765,920,009	12,325	0	0.00
第6期	568,525,395	663,933,398	11,678	0	0.00
第7期	1,832,300,198	2,363,402,303	12,899	0	0.00
第8期	2,604,874,418	3,310,409,567	12,709	0	0.00
第9期	5,122,103,237	5,591,561,050	10,917	0	0.00
第10期	6,304,063,381	7,748,049,257	12,291	0	0.00
第11期	5,830,831,325	7,215,294,638	12,374	0	0.00
第12期	6,174,957,783	7,314,558,041	11,846	0	0.00
第13期	5,414,649,747	5,841,945,583	10,789	0	0.00
第14期	2,053,784,158	2,548,131,289	12,407	0	0.00
第15期	4,886,892,453	6,120,621,978	12,525	0	0.00

償還金のお知らせ

1万口当たり償還金（税引前）	13,370円53銭
----------------	------------

償還乗換えの優遇措置の適用について

当ファンドの償還金をもって他の証券投資信託をお求めになる場合には、購入時手数料のうち所定の額を返戻または割引く措置の適用を受けられる場合があります。優遇措置の適用は販売会社によって異なりますので、詳しくは販売会社までお問い合わせ下さい。

新興国現地通貨建債券マザーファンド

償還 運用報告書

第31期 (償還日 2023年3月22日)

この度、信託約款の規定に基づき、繰上償還の運びとなりました。ここに、運用経過と償還内容をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2008年3月28日から2023年3月22日までです。
運用方針	新興国の現地通貨建て国債、政府機関債、国際機関債、社債等に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指します。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 当マザーファンドにおける円の余資運用以外の運用の指図に関する権限を、ルーミス・セイレス・アンド・カンパニー・エル・ピーに委託します。なお、ルーミス・セイレス・アンド・カンパニー・エル・ピーは、その委託を受けた運用の指図に関する権限の一部（債券等の取引執行の一部）を、子会社であるルーミス・セイレス・インベストメンツ・アジア・ピー・ティー・イー・リミテッドに再委託します。
主要投資対象	新興国の公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額		J P モ ル ガ ン G B I - E M グ ロ ー バ ル ・ デ ィ バ ー シ フ ァ イ ド (為替ヘッジなし・円ベース) (参考指数)		債券 組入比率	債券 先物比率	純資 産額
	期中 騰落率	期中 騰落率	期中 騰落率	期中 騰落率			
	円	%		%	%	%	百万円
27期(2021年8月16日)	14,591	△0.6	285.08	0.1	97.0	-	2,527
28期(2022年2月15日)	14,774	1.3	288.91	1.3	95.9	-	2,502
29期(2022年8月15日)	15,631	5.8	292.94	1.4	93.9	-	6,141
30期(2023年2月15日)	16,030	2.6	299.08	2.1	-	-	5,854
(償還日) 2023年3月22日	(償還価額) 16,204.63	1.1	296.54	△0.8	-	-	572

(注1) 債券先物比率は、買建比率-売建比率です。

(注2) J P モ ル ガ ン G B I - E M グ ロ ー バ ル ・ デ ィ バ ー シ フ ァ イ ド (為替ヘッジなし・円ベース) は、基準価額への反映を考慮して前営業日の値を用いております (小数第3位四捨五入) (以下同じ)。

(注3) J P モ ル ガ ン G B I - E M グ ロ ー バ ル ・ デ ィ バ ー シ フ ァ イ ド (為替ヘッジなし・円ベース) は、J . P . モ ル ガ ン ・ セ キ ュ リ テ ィ ー ズ ・ エ ル エ ル シ ー が 公 表 し て い る 指 数 で す 。 同 指 数 に 関 す る 著 作 権 等 の 知 的 財 産 そ の 他 一 切 の 権 利 は J . P . モ ル ガ ン ・ セ キ ュ リ テ ィ ー ズ ・ エ ル エ ル シ ー に 帰 属 し ま す (以 下 同 じ) 。

(注4) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

■当期中の基準価額と市況の推移

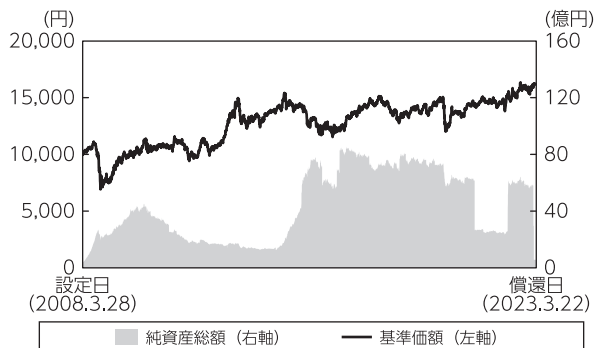
年 月 日	基 準 価 額		J P モ ル ガ ン G B I - E M グ ロ ー バ ル ・ デ ィ バ ー シ フ ェ イ ド (為替ヘッジなし・ 円 ベ ー ス) (参 考 指 数)		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
		騰 落 率		騰 落 率		
(期 首) 2023年 2月15日	円 16,030	% -	299.08	% -	% -	% -
2月末	16,238	1.3	301.27	0.7	-	-
(償 還 日) 2023年 3月22日	(償 還 価 額) 16,204.63	1.1	296.54	△0.8	-	-

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は、買建比率-売建比率です。

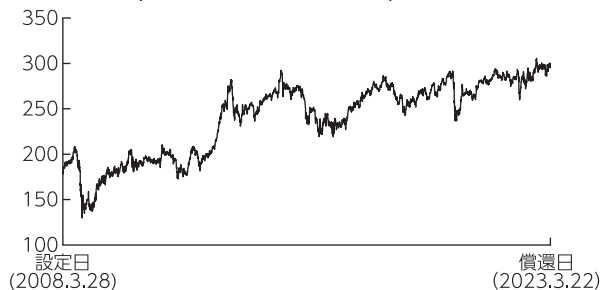
■設定以来の運用経過（2008年3月28日から2023年3月22日まで）

<基準価額等の推移>



(注) 基準価額は、設定日前日を10,000として計算しています。

<JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド (為替ヘッジなし・円ベース)の推移>



基準価額の推移

当ファンドの基準価額は16,204.63円となり、設定来で62.0%上昇しました。

基準価額の主な変動要因

マザーファンド内の新興国の現地通貨建て債券は当期開始前に売却しております。保有する外貨キャッシュを円に交換する際に、円安水準で執行できたことを主因に基準価額は上昇しました。

新興国の現地通貨建て債券に投資を行った結果、現地通貨が円に対して軟調に推移した一方で、新興国の債券市場が上昇したことを主因に基準価額は上昇しました。

設定来の投資環境

新興国の現地通貨建て債券市場は、2008年のリーマンショック、2013年のバーナンキF R B（米連邦準備理事会）議長によるQ E（量的緩和）縮小発言、2020年の新型コロナウイルスの世界的な感染拡大、2022年のロシアのウクライナ侵攻を受け、下落する局面はありましたが、高い表面利率による利息収入を主因に上昇基調で推移しました。

新興国の通貨（対円）は、2008年のリーマンショック、2014年から2015年にかけての原油価格暴落、2020年の新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受け、市場のリスク回避姿勢が強まったことなどを背景に下落しました。

設定来のポートフォリオについて

主として新興国の現地通貨建て債券に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指しました。

国別配分は、投資ガイドラインに留意しながら、新興国市場の代表的なインデックスに採用のない国も含めて幅広い銘柄への投資を実施しました。

種別配分は国債を主体としつつ、新興国企業の社債等も組み入れました。

■ 1 万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) その他費用 (保管費用)	6,772円 (51)	41.787% (0.317)	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
(その他)	(6,721)	(41.470)	
合計	6,772	41.787	
期中の平均基準価額は16,206円です。			

(注1) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 売買及び取引の状況 (2023年2月16日から2023年3月22日まで)

期中の売買及び取引はありません。

■ 利害関係人との取引状況等 (2023年2月16日から2023年3月22日まで)

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 組入資産の明細

償還時における有価証券の組入れはありません。

■投資信託財産の構成

2023年3月22日現在

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 572,338	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	572,338	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年3月22日)現在

項 目	償 還 時
(A) 資 産	572,338,431円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	572,338,431
(B) 負 債	263
未 払 利 息	263
(C) 純 資 産 総 額(A - B)	572,338,168
元 本	353,194,246
償 還 差 損 益 金	219,143,922
(D) 受 益 権 総 口 数	353,194,246口
1 万 口 当 たり 償 還 価 額(C / D)	16,204円63銭

(注1) 期首元本額 3,651,875,159円
 追加設定元本額 -円
 一部解約元本額 3,298,680,913円

(注2) 期末における元本の内訳
 MHAM新興国現地通貨債券ファンド(ファンドラップ) 353,194,246円
 期末元本合計 353,194,246円

■損益の状況

当期 自2023年2月16日 至2023年3月22日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	5,231,846円
受 取 利 息	5,249,336
支 払 利 息	△17,490
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	252,188,085
売 買 益	274,003,952
売 買 損	△21,815,867
(C) そ の 他 費 用	△239,101,766
(D) 当 期 損 益 金(A + B + C)	18,318,165
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	2,202,144,844
(F) 解 約 差 損 益 金	△2,001,319,087
(G) 合 計(D + E + F)	219,143,922
償 還 差 損 益 金(G)	219,143,922

(注) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。